

長崎大学における病院改革等について

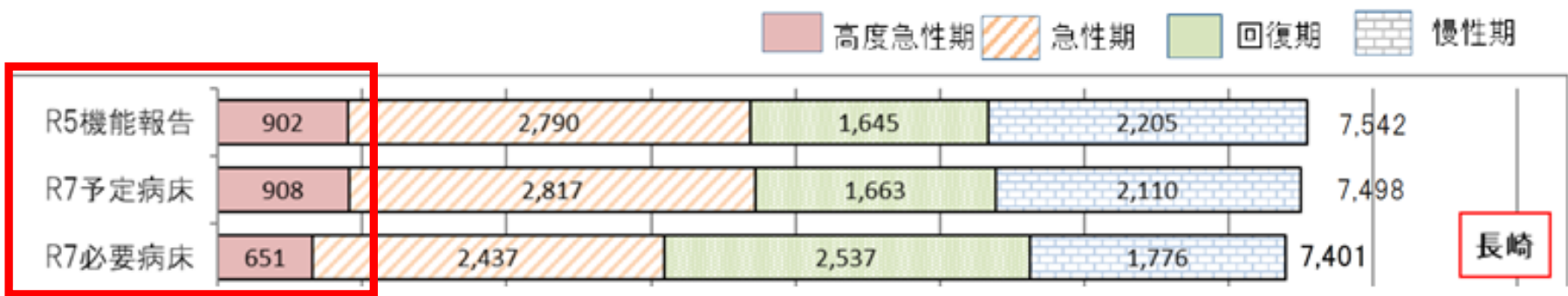
長崎大学病院長 尾崎 誠

1. 医療需要の変化（新たな地域医療構想）を見据えた病床再編の取組について
2. 最新の高度医療から見た今後の大学附属病院施設の在り方について
3. 教育、研究機能の強化に関する取組（環境整備含む）について
4. 医療DX（離島におけるオンライン専門外来）について
5. 限られた敷地の中で行った再開発整備の工夫について

1.医療需要の変化（新たな地域医療構想）を見据えた病床再編の取組について

1-1 令和7年度に実施した病床再編・削減について

1. 長崎区域の医療機能（令和5年病床機能報告）



（出典：令和6年度 第1回長崎区域地域医療構想調整会議 資料）

高度急性期病床 R 7 年度必要数に対する余剰病床数
 908床 - 651床 = 257床

2. 厚生労働省医政局発0731第1号 令和6年7月31日

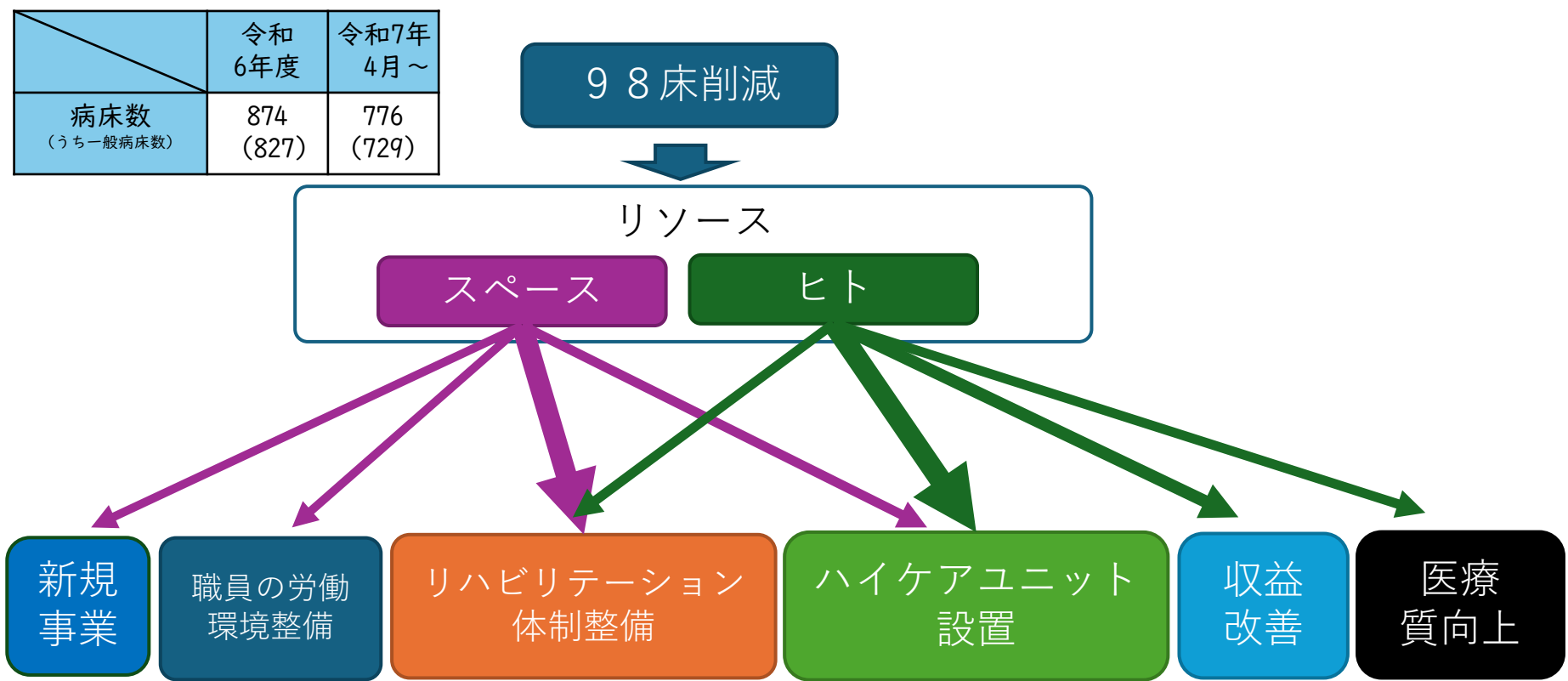
「地域医療構想における推進区域及びモデル推進区域の設定等について」

長崎医療圏が「推進区域」 & 「モデル推進区域」に設定された。



病床数の再編・削減について検討

1.医療需要の変化（新たな地域医療構想）を見据えた病床再編の取組について



スペースの再配分

- リハビリテーション部の移転
(入院患者のアクセス向上のため、外来棟から病棟へ)
- 病棟内フリーワーキングスペースの設置
- 新規事業への配分

ヒトの再配分（看護師35人）の再配分

- ハイケアユニット：19人
- 収益改善ポスト：14人
- 医療の質向上：2人

1.医療需要の変化（新たな地域医療構想）を見据えた病床再編の取組について

スペースの再配分

西 病 棟				東 病 棟			
主な診療科		特別室		特別室		主な診療科	
		A	B	A	B		
すかいらうんじ「ぼんべ」				14階	すかいらうんじ「ぼんべ」		
血液内科	1	2	13階	1	5	腎臓内科 泌尿器科	
呼吸器内科 呼吸器外科	1	7	12階	0	8	リウマチ・膠原病内科 内分泌・代謝内科 乳腺・内分泌外科	
形成外科 歯科・口腔外科 外傷センター	1	5	11階	1	3	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 麻酔科	
循環器内科	1	5	10階	1	5	心臓血管外科 放射線科 整形外科	
眼科 脳神経外科 脳神経内科	1	1	9階	1	5	SCU 脳神経外科 脳神経内科	
消化器内科 消化器外科	1	7	8階	1	5	消化器外科	
消化器内科 婦人科 皮膚科・アレルギー科	1	3	7階	1	5	消化器内科 皮膚科・アレルギー科	
産科 分娩部 MFICU	1	9	6階	0	1	小児科 小児外科	
精神科神経科	0	9※	5階	1	5	整形外科	
NICU・GCU	—	—	3階	—	—	—	
中央診療棟			2階	—	—	ICU	
			2階	—	—	高度救命救急センター	
国際医療センター			1階	—	2	感染症内科 総合診療科 国際ヒパクシャ医療センター	

4床部屋3室
(12床)を
1部屋
に改修工事

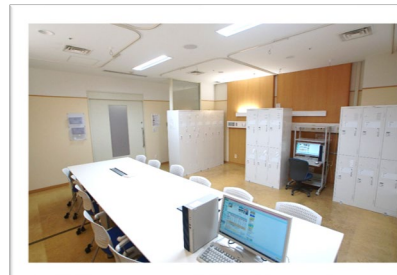
HCU 8床
設置
2025. 4月～
稼働

削減した10病棟の4床部屋を改修

病棟リハビリテーション室
3室 (2025.7月～)



病棟ワーキングスペース
7室 (2025.7月～)



削減された1病棟 (5階東病棟)

リハビリテーション部 (2026.4月移転)
→外来棟から病棟の建物へ移転 (入院患者のアクセスの改善)

国際医療センター健診事業
→新たに健診事業を実施

12病棟から4～5床削減

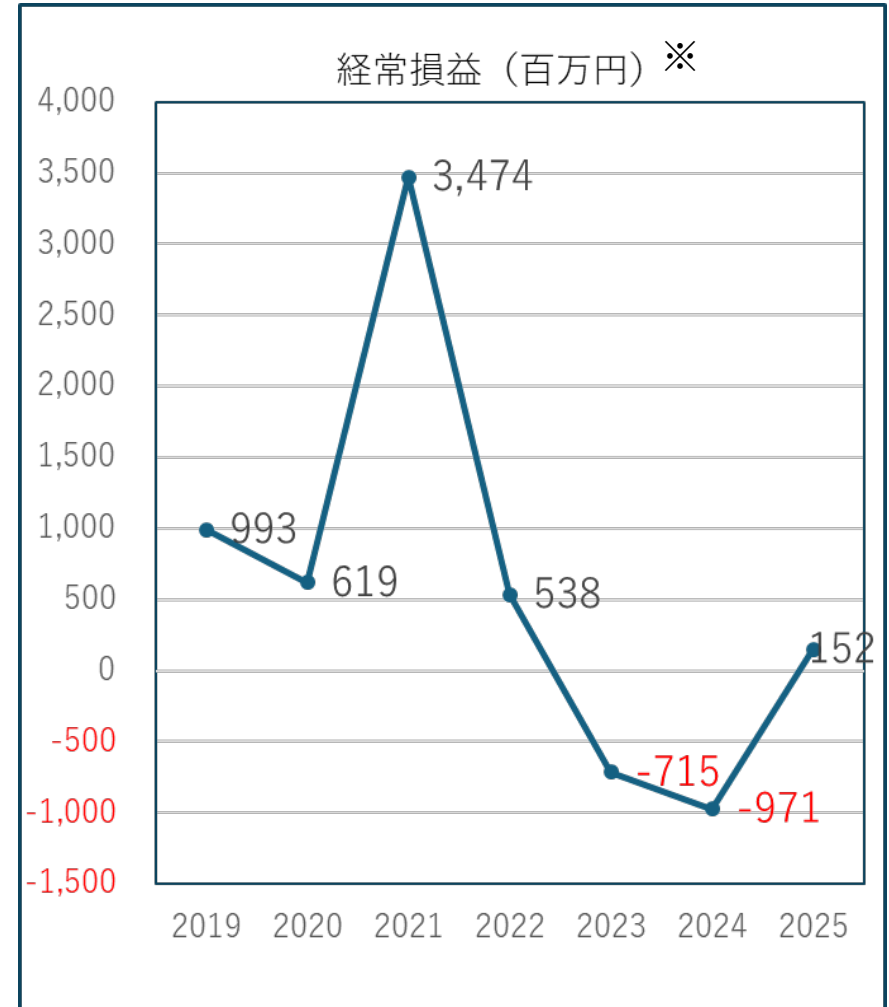
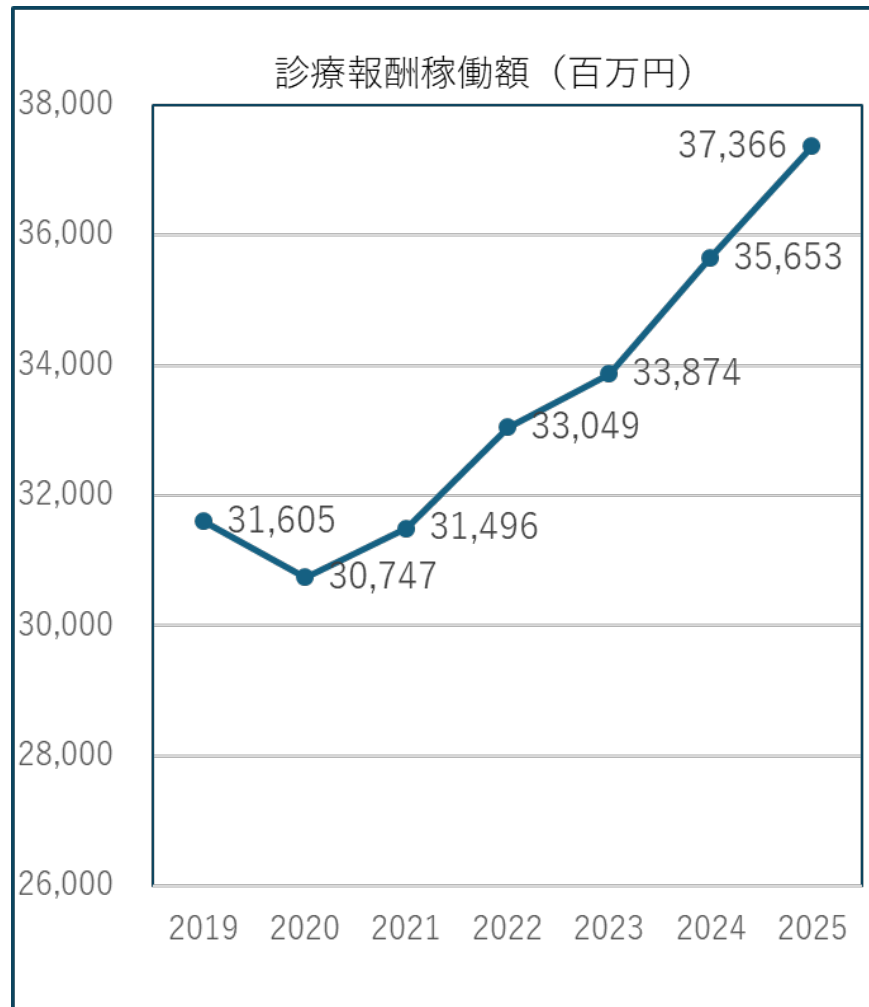
1.医療需要の変化（新たな地域医療構想）を見据えた病床再編の取組について

ヒトの再配分（看護師）

区分	部署	項目	配置・増員
収益改善	HCU	HCU設置	19名
	臨床研究センター	臨床研究の支援	4名
	リハビリテーション部	リハビリ件数の増加	4名
	手術部	手術件数の増加	2名
	集中治療部	施設基準の充足	1名
	摂食嚥下チーム	摂食機能療法	1名
	身体的拘束最小化チーム	身体的拘束を最小化する取組み	1名
	産科婦人科外来	生殖外来件数の増加	1名
医療の質の担保	医療相談室	医療相談室の充実	1名
	安全管理部	安全管理の向上	1名
合計			35名

1.医療需要の変化（新たな地域医療構想）を見据えた病床再編の取組について

・診療報酬稼働額と経常損益

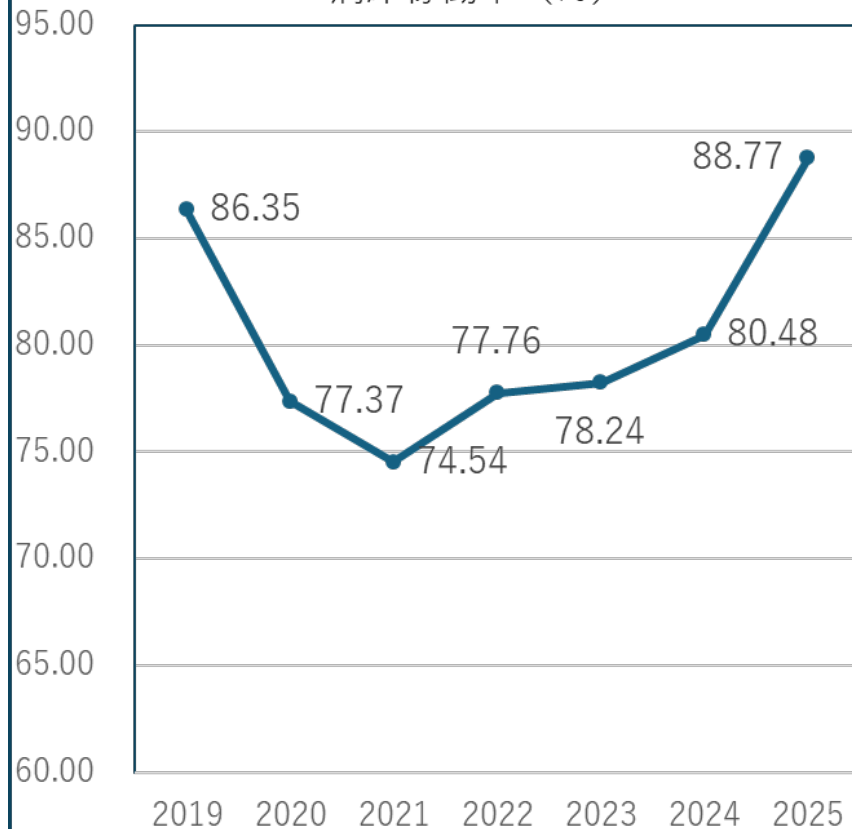


※）コロナ補助金
を含む
2020：2,710百万円
2021：3,361百万円
2022：1,213百万円

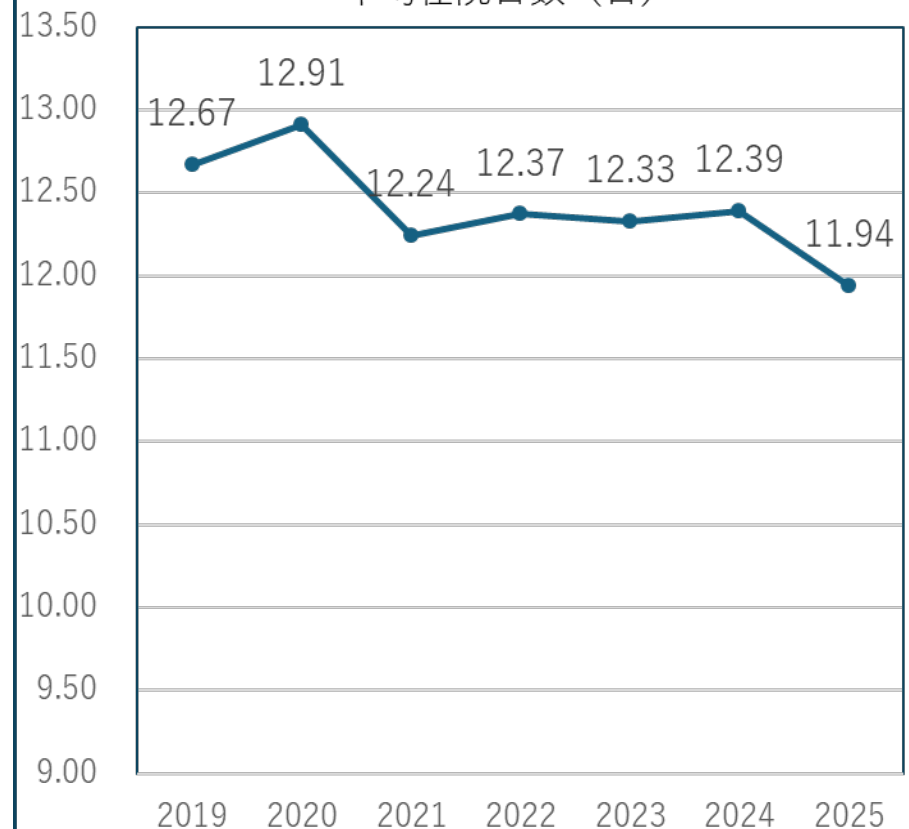
1.医療需要の変化（新たな地域医療構想）を見据えた病床再編の取組について

・病床稼働率と平均在院日数

病床稼働率（％）



平均在院日数（日）



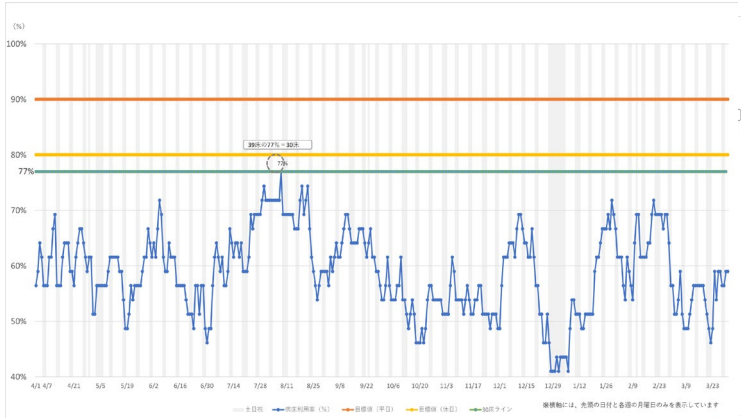
1.医療需要の変化（新たな地域医療構想）を見据えた病床再編の取組について

1-2 精神科病床の再編 ※令和8年度計画

現状と課題

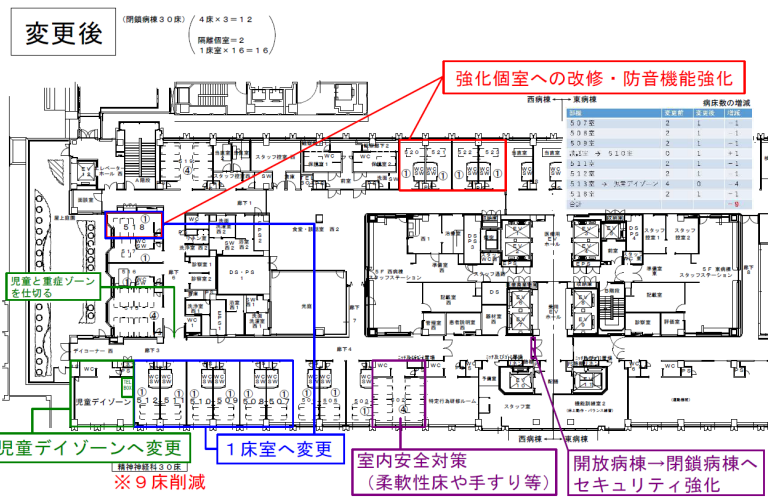
- ・精神科病床39床を運用しているが、病床利用率は概ね70%前後で推移
- ・重症患者対応可能な強化個室が不足
- ・2床室は実質的に1人部屋として利用
- ・第8次長崎県医療計画において精神科病床の適正化が求められている

5階西病棟の病床利用率



改革のための方向性

- ・39床→30床に9床削減
- ・個室及び強化個室の増設
- ・児童精神科専門診療のための児童デイゾーンを設置



※その他児童用家具購入や安全カメラ増設等必要
病棟・診療棟5階 平面図 NonScale

2.最新の高度医療から見た今後の大学附属病院施設の在り方について

2-1 手術室

- ①手術の効率化、日帰り手術増加に対応するための手術待機室の設置について
- ②ロボット支援手術室及び、ハイブリッド手術室について

2-2 病棟機能の高度化への対応：

病棟にICU、HCUの増床、リハビリテーション室、多職種ワーキングスペース

2-3 増加する放射線治療への対応：

RI病棟で実施される各種治療の現状と今後の増加見込み、患者数の増加に伴う設備拡充。

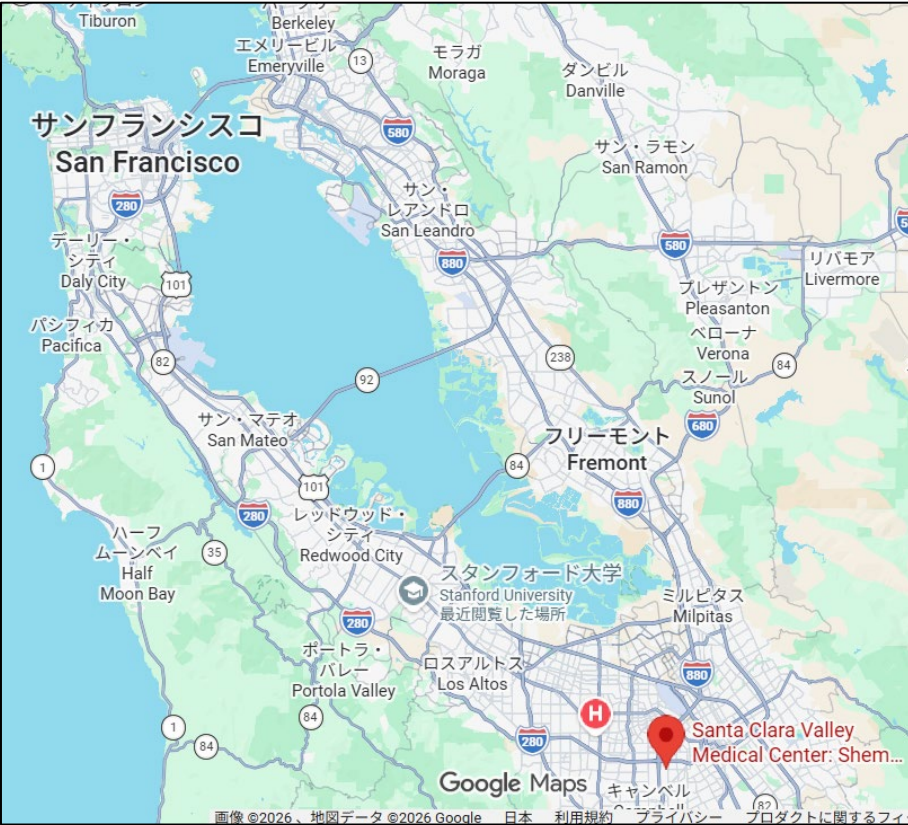
2-4 救急医療体制： 拠点病院として施設整備（例：福島県立医科）

2-5 増加する外来化学療法などへの対応： 外来ベッドの増床

2.最新の高度医療から見た今後の大学附属病院施設の在り方について

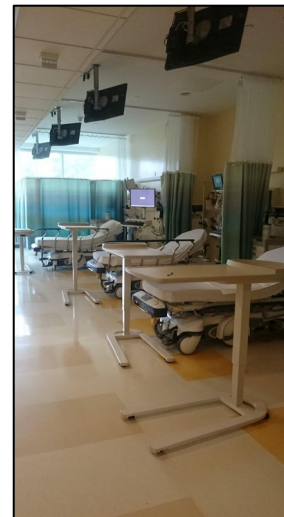
2-1 ①手術の効率化、日帰り手術増加に対応するための手術待機室の設置

Santa Clara Valley Medical Center
@ San Jose, CA, USA
2017年9月15日



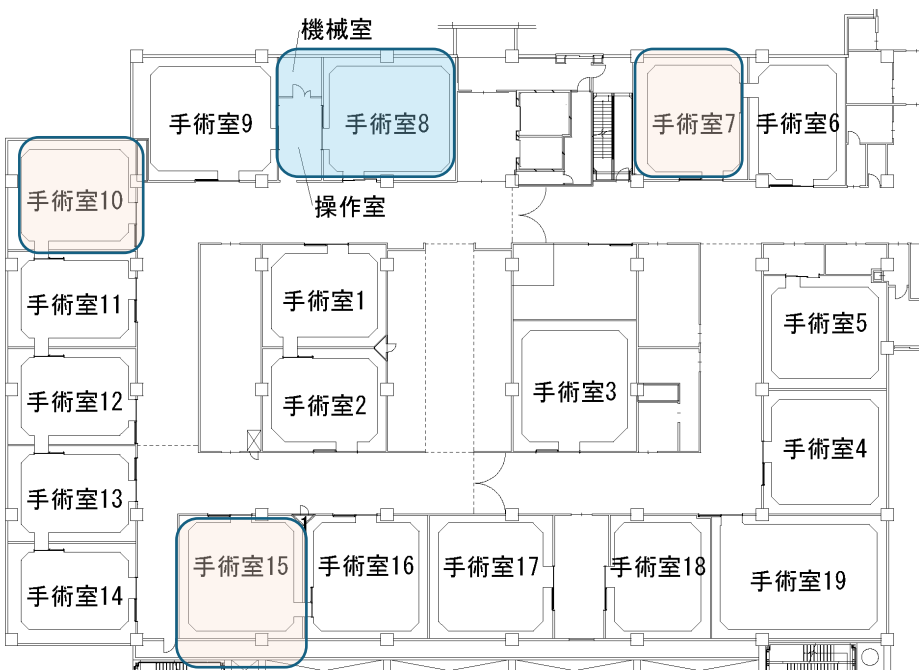
2.最新の高度医療から見た今後の大学附属病院施設の在り方について

2-1 ①手術の効率化、日帰り手術増加に対応するための手術待機室の設置



2.最新の高度医療から見た今後の大学附属病院施設の在り方について

2-1 ②ロボット支援手術室及び、ハイブリッド手術室



ロボット支援手術室（3室）



ハイブリッド手術室（1室）

	必要諸室（面積）	特筆すべき設備要件等
ロボット支援手術室 （手術室7・10・15）	- 手術室（74㎡） 【一般的な手術室面積の+1割程度】	2014年ダヴィンチ1台 2020年ダヴィンチ1台 2025年ヒューゴ1台導入
ハイブリッド手術室 （手術室8）	- 手術室（87㎡） 【一般的な手術室面積の+2割程度】 - 操作室（20㎡） - 機械室（8㎡）	- 長めの手術台 - X線透視装置 - モニター画面 - 透視装置電源や制御装置用機械室が必要
一般的な手術室	手術室（65㎡程度）	—

2.最新の高度医療から見た今後の大学附属病院施設の在り方について

2-2 病棟機能の高度化への対応

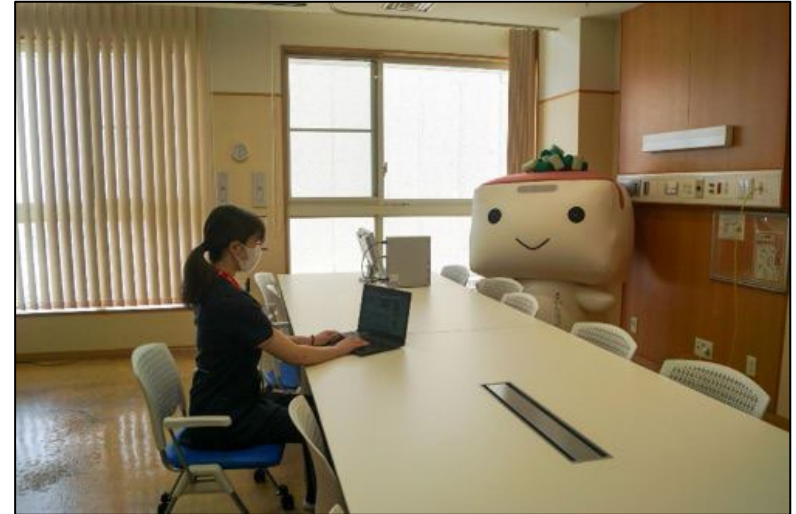
HCU



病棟内リハビリテーション室



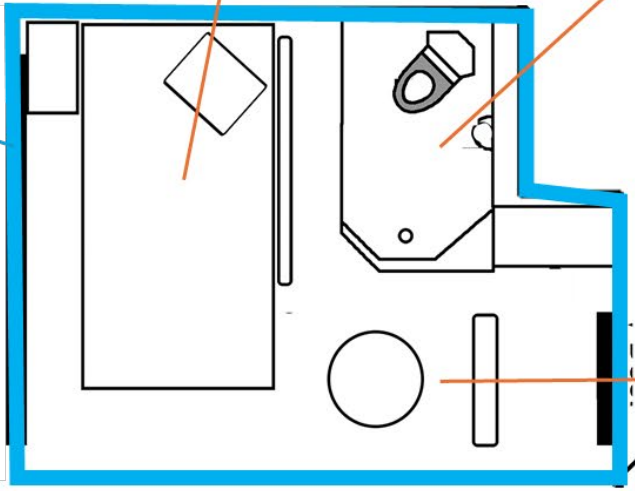
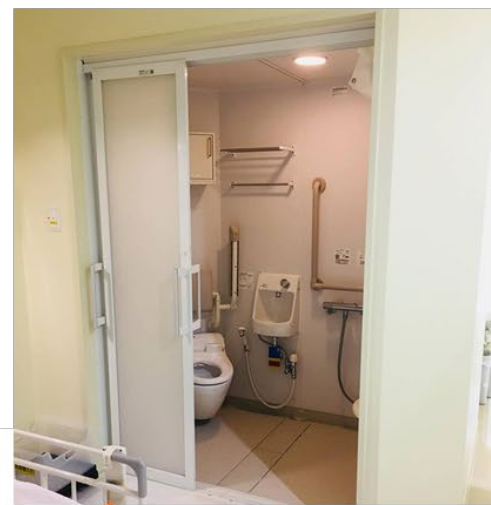
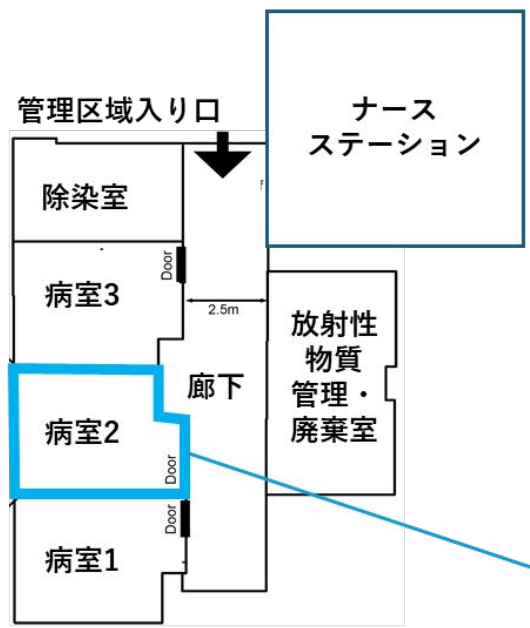
多職種ワーキングスペース



2.最新の高度医療から見た今後の大学附属病院施設の在り方について

2-3 増加する放射線治療への対応：

本院のRI病棟



病室1・2でヨード(甲状腺癌転移)
病室3でルタテラ(神経内分泌腫瘍)
の治療を隔週で行っている。

2.最新の高度医療から見た今後の大学附属病院施設の在り方について

2-3 増加する放射線治療への対応：

●現状の病棟運用（RI病床 3床 隔週で治療を実施）

		月	火	水	木	金	土	日
第1週	第1室		ヨード					
	第2室		ヨード					
	第3室		プルヴィクト		ルタテラ			
第2週	第1室		※2026年11月から治療開始予定 (1患者につき、6週間おきに6回投与)					
	第2室							
	第3室							

●治療実施人数と今後の見込み

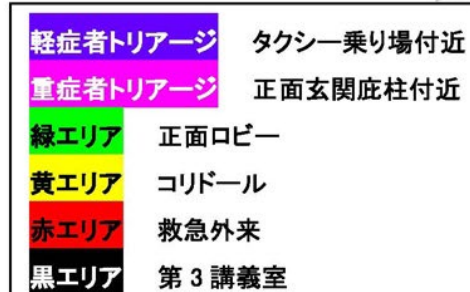
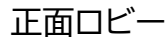
	2025年度実績	2026年度見込み	2027年度見込み
ヨード	43人（43件）	50人（50件）	50人（50件）
ルタテラ	6人（21件）	7人（26件）	7人（26件）
プルヴィクト （PSMA治療）	—	2人（10件）	31人（182件）

- ・長崎県下のPSMA患者見込数40～50名/年
- ・PSMA治療の適応症例拡大による患者増



RI病床数の不足

災害時を想定し、正面ロビーやコリドール(渡り廊下)を
処置スペースとして活用できるように整備している



救急用医療ユニット
(非常電源コンセント・医療ガス収納)



救急外来処置・検査室

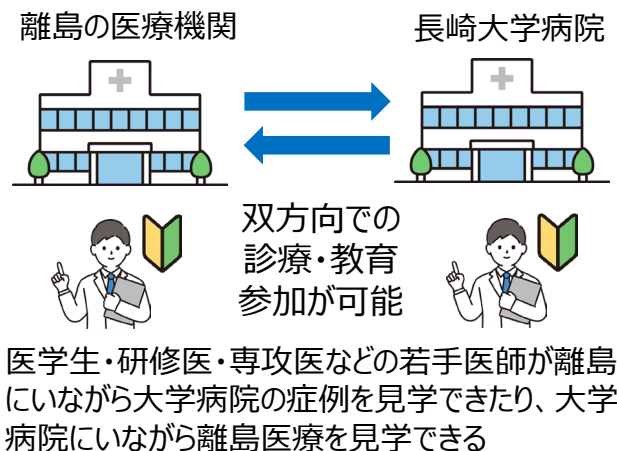
3.教育、研究機能の強化に関する取組（環境整備含む）について

3-1. 教育機能の強化に関する取組

離島遠隔医療教育設備の整備

文部科学省の高度医療人材育成事業を活用し、離島医療機関において遠隔医療に精通し、高度専門医療を提供できる人材の育成のための遠隔医療システムを導入した。

地理的制約を超えた教育機会を提供し、離島・へき地を多く持つ長崎において、離島・へき地医療を支える人材育成基盤を構築した。



シミュレーションセンターおよび研修医関連施設の充実

24時間使用可能なシミュレーションセンターには、実習可能な部屋3室と多数のシミュレーターを設置しており、専任の看護師を配置している。

また、医科・歯科ともに研修医室を設置し、研修医1人に1台のデスクを配置しているほか、電子カルテ端末や仮眠室も完備しており、病院全体でこれからの医療を担う医療者が学びやすい環境を整えている。

3.教育、研究機能の強化に関する取組（環境整備含む）について

シミュレーションセンターの利用状況(令和7年度実績)

年間延べ利用者数 **8,726名** 年間利用回数 **1,003回**

<年間延べ利用者数の職種別内訳> 研修医に限らず、医師やメディカルスタッフなど、様々な職種が利用している。

医学生	看護学生	医科 研修医	歯科 研修医	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	看護 補助者	臨床検査 技師	診療放射 線技師	臨床工学 技士	セラピスト	栄養士	事務職員	その他	学外	合計
4,062	2	516	62	1,223	15	49	1,691	78	34	31	10	32	8	475	93	345	8,726



<主なシミュレーター>

- 心臓病診察シミュレーター
 - 呼吸音聴診シミュレーター
 - 超音波診断ファントム・腹部モデル
 - 直腸診シミュレーター
 - 乳がん触診モデル
 - 前立腺触診シミュレーター
 - 眼底診察シミュレーター
 - 気胸トレーナー
 - 腰椎・硬膜外穿刺シミュレーター
 - 心臓穿刺シミュレーター
 - 膝関節鏡シミュレーター
 - 分娩トレーナー
 - 婦人科超音波診断ファントム
 - CVC穿刺挿入シミュレーター
 - 採血静注シミュレーター
- など70種類以上のシミュレーターを設置

3.教育、研究機能の強化に関する取組（環境整備含む）について

医療教育開発センター内の研修医関連設備

＜研修医室＞ 医科・歯科ともに研修医一人一人にデスクとロッカーを完備



医科研修医室には、4室の仮眠室を設置し、電子カルテも配置



＜研修医セミナー室＞

勉強会やセミナーが実施できる部屋を研修医室のすぐ横に配置



【施設・設備に関する課題】

＜シミュレーション室＞ 現在：285㎡ 追加必要面積：45㎡(保管倉庫・洗浄スペース確保のため)

- シミュレーター等を保管する倉庫が少ない
- シミュレーターの保守・洗浄を行う専用洗浄スペースが不足している

＜研修医関連設備＞ 現在：526㎡(研修医用デスク56席)

追加必要面積：402㎡(研修医用デスク18席増、学生滞在スペースの確保のため)

- 他施設の研修医を受け入れた場合、デスク数がギリギリとなっており、研修医にとって手狭
- オンライン学習・Web会議に対応した個室型学習スペースの確保
- 車椅子の学生や研修医が使用できる多目的トイレや休憩場所の確保
- 臨床実習中の医学生が滞在できる場所等の確保

3-2. 研究機能の強化に関する取組

臨床研究中核病院

- 長崎大学病院は、全国で15施設目の臨床研究中核病院として令和5年4月に承認された。**（※令和8年7月時点で16施設が臨床研究中核病院となっている。）
- 臨床研究中核病院として国のプロジェクトに参画し、長崎大学病院のみならず他の研究機関の臨床研究の質の向上を推進している。
- また、臨床研究中核病院が応募できる国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「**ワクチン開発のための世界トップレベル研究開発拠点の形成事業**」にも**シナジー拠点として採択**され、事業を推進している。



※令和7年5月に広島大学が16施設目の臨床研究中核病院となった。

3.教育、研究機能の強化に関する取組（環境整備含む）について

臨床研究センター構成員内訳

職種	人数
医師	9
薬剤師	14
看護師	18
事務	10
その他	14
合計	65

各ユニット執務室



治験文書保管室



執務室文書保管棚

教育、研究機能の強化に関する取組と環境整備について

以上の取組みにより、教育・研究機能の強化を着実に進めている一方で、シミュレーション教育、遠隔教育、臨床研究支援等に必要な部屋やスペースの確保が大きな課題となっている。今後、更なる大学病院機能の強化のために、教育研究活動を支える施設・設備環境の拡充が不可欠である。

4.医療DX（離島におけるオンライン専門外来）について

4-1 これまでの設備整備の状況

令和6年度まで

離島から大学病院への**一方向アクセス**
（高解像度の映像共有による**診療支援**）



令和7年度 総事業費:約2億円(令和6年度補正予算約2億円を活用)

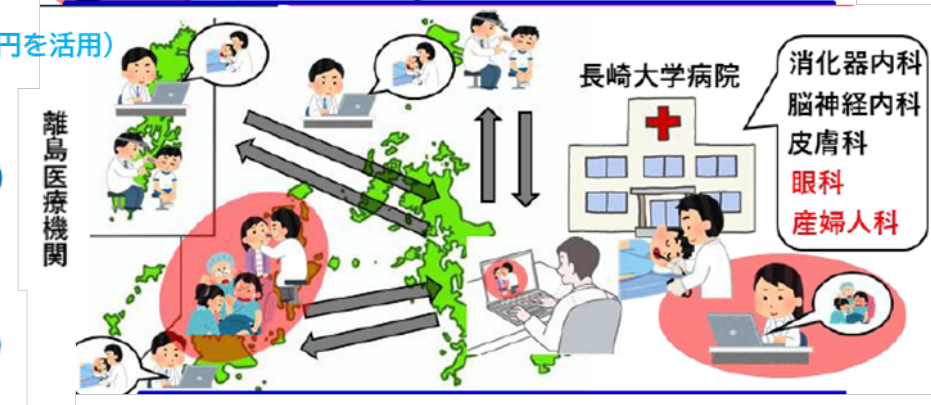
下り回線を追加し**双方向アクセス**が可能に
（離島医療従事者への**実践的な教育**）



令和8年度(予定) 総事業費:約5.4億円(令和7年度補正予算約4億円を活用)

持続可能な医療提供体制の構築
（離島病院内に大学病院の**オンライン専門外来設置**）

診療科の拡充 3診療科→**5診療科**へ
（消化器内科、脳神経内科、皮膚科、**眼科**、**産婦人科**）



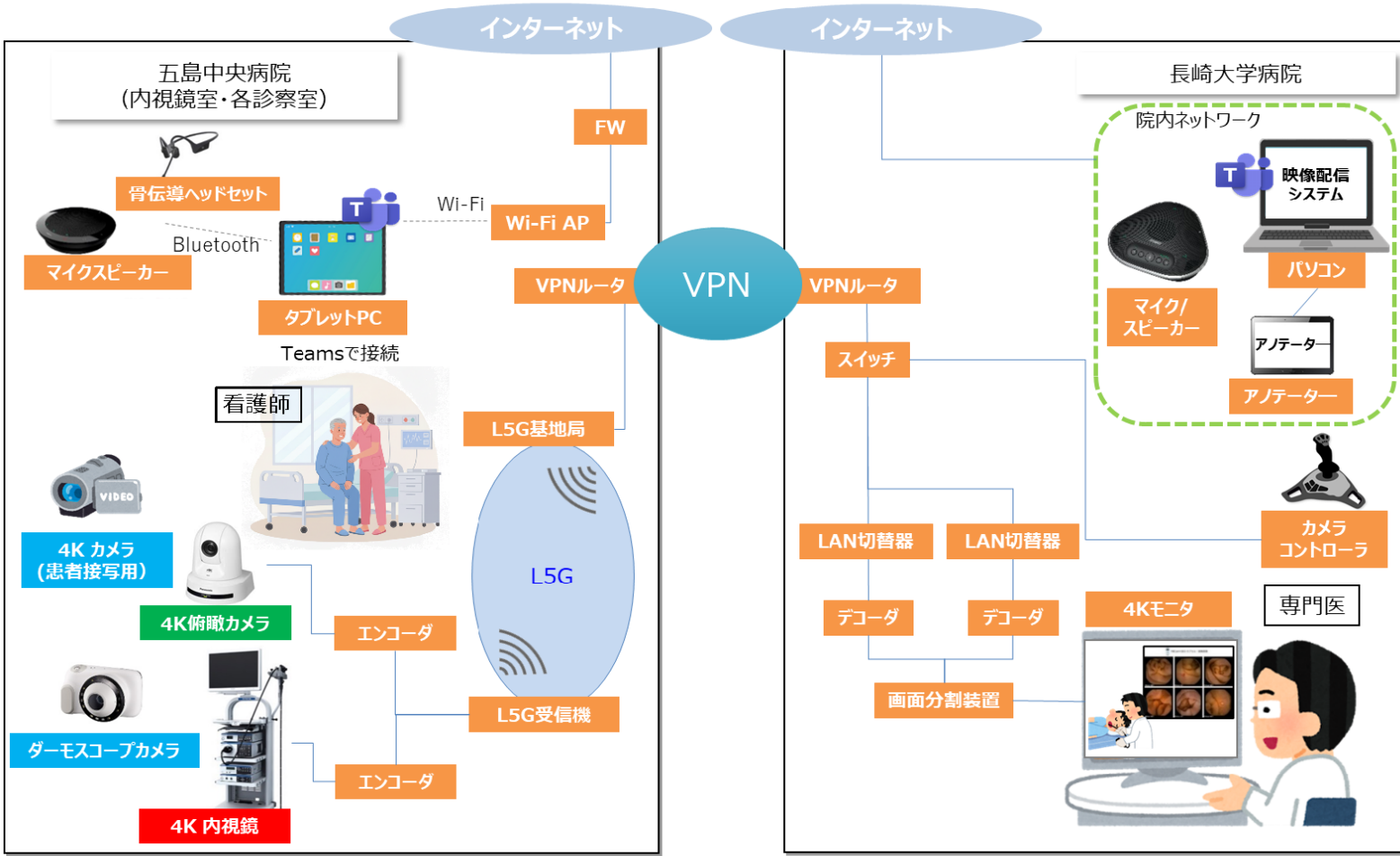
4.医療DX（離島におけるオンライン専門外来）について

4 - 3 システム構成



- 1. 外来予約連携
- 2. 処方・指示・検査
オーダー連携
- 3. 診療記録保存

脳神経内科
皮膚科
消化器内科



4.医療DX（離島におけるオンライン専門外来）について

4-4 長崎大学病院のオンライン専門外来診察室（脳神経内科）



5 - 1 前回の再開発整備の移行計画

● 敷地における再開発整備の課題

- ①地理的要因により新たな移転用地の確保が困難
- ②利用できる敷地面積が限られる
- ③敷地に高低差がある
- ④動線が複雑
- ⑤手術室等の診療機能を継続しながらの再整備が必要



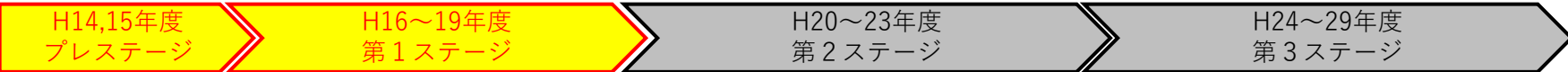
● 課題解決

- ①老朽化した既存建物の取壊しを先行
- ②4期に分けた玉突き整備を実施
- ③診療継続のための仮設廊下等の綿密な計画を実施
- ④解体建物と診療中の建物の間をワイヤーソーにより切断

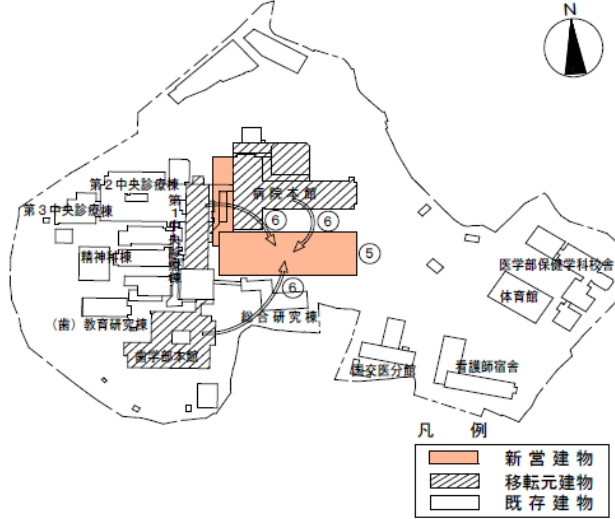
5.限られた敷地の中で行った再開発整備の工夫について

5-1 前回の再開発整備の移行計画（課題解決）

- 4期に分けた玉突き整備（プレステージ、第1ステージ）



整備ステージ プレステージ				
年度 H14年度・H15年度				
計画建物配置図及び移行計画図				
	事項	番号	建物名称等	構造・階 延床面積(m ²)
	整備内容等	①	旧(歯)基礎研究棟より移転	
		②	旧(歯)基礎研究棟改修 (総合研究棟)	R5 3,400
		③	第2臨床研究棟より移転	
		④	基幹・環境整備 (第2臨床研究棟解体他)	— (R3) (4,060)

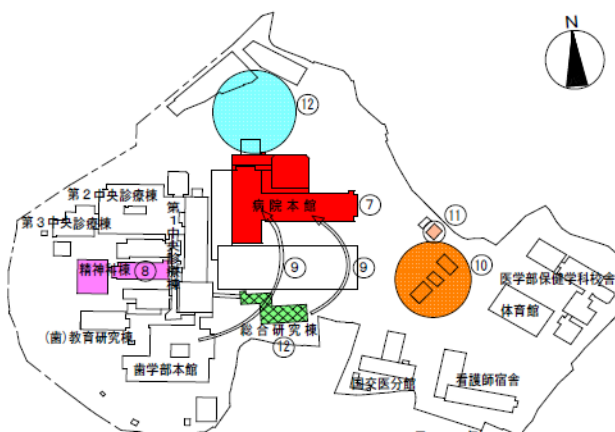
整備ステージ 第1ステージ				
年度 H16～19年度				
計画建物配置図及び移行計画図				
	事項	番号	建物名称等	構造・階 延床面積(m ²)
	整備内容等	⑤	病棟・診療棟新営	SR14-1 43,810
			基幹・環境整備(渡り廊下)	SR 5-1 3,470
		⑥	病院本館・歯学部本館・ 第1中央診療棟より移転	

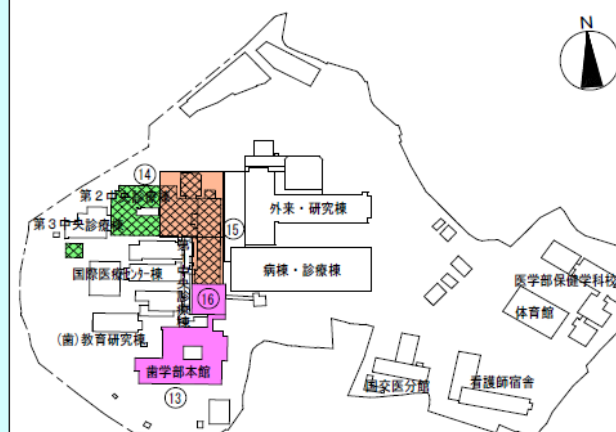
5.限られた敷地の中で行った再開発整備の工夫について

5-1 前回の再開発整備の移行計画（課題解決）

- 4期に分けた玉突き整備（第2ステージ、第3ステージ）

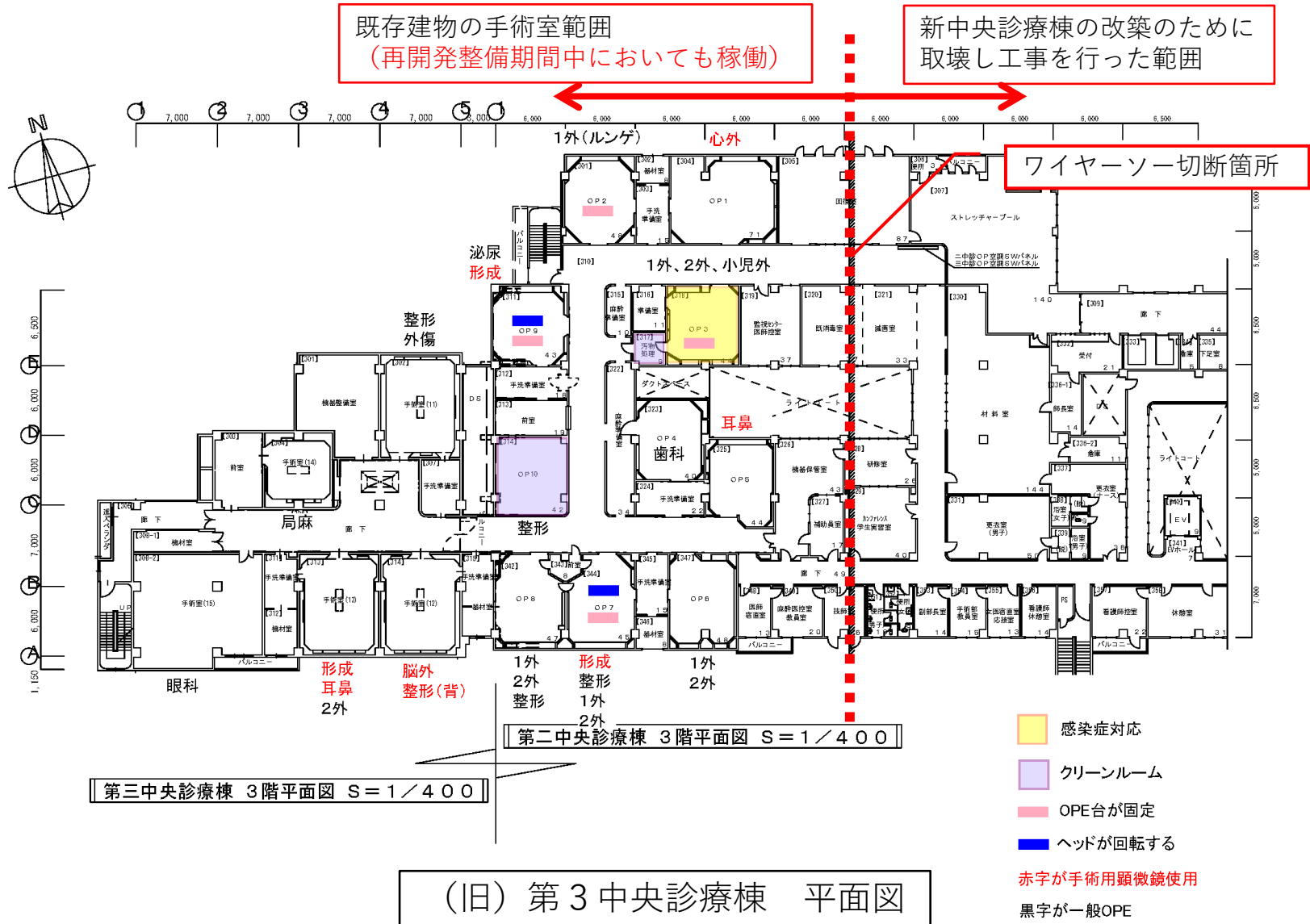


整備 ステージ	第 2 ス タ ー ジ			
年度	H 2 0 ~ 2 3 年 度			
計画建物配置図及び移行計画図				
事項	番号	建物名称等	構造・階	延床面積 (㎡)
整備内容等	⑦	病院本館改修	SR12-1	42,800
	⑧	国際医療センター改修 (旧精神科病棟・精神科棟)	R3・R1	2,230
	⑨	総合研究棟 (旧歯基礎研究棟) ・歯学部本館より移転		
	⑩	基幹・環境整備 (特高受変電設備棟更新)	— R1, 2	— 式 740
	⑪	基幹・環境整備 (給水センター他更新)	—	— 式
	⑫	基幹・環境整備 (正門α-β・総合研究棟解体)	(R5)	(3,400)

整備 ステージ	第 3 ス タ ー ジ			
年度	H 2 4 ~ 2 9 年 度			
計画建物配置図及び移行計画図				
事項	番号	建物名称等	構造・階	延床面積 (㎡)
整備内容等	⑬	歯学部本館改修	I 期 (4F~9F)	8,690
			II 期 (B1F~3F)	8,510
	⑭	第1~2中央診療棟解体他	(R5)	(11,190)
	⑮	中央診療棟	SR5-1	19,092
	⑯	総合研究棟改修 (歯学部教育研究棟2)	I 期 (耐震補強)	2,610
			II 期 (機能改善)	

5.限られた敷地の中で行った再開発整備の工夫について

5 - 1 前回の再開発整備の移行計画（課題解決）



5.限られた敷地の中で行った再開発整備の工夫について

5-2 長大未来基金の設立(民間資金の活用)

令和6年度に患者サービスの向上、診療環境の整備、医療研究・技術開発及び医療従事者の教育支援を目的として長大病院未来基金を設立。基金を活用し、患者用充電器、患者呼出用モニター、AED、手洗い場等を整備し、患者サービス及び教育研究環境の向上を図っている。

年度	受入件数	受入金額
2024年度	26件	4,889,000円
2025年度	60件	4,715,000円

